

# ミャンマーの二人の指導者に願いを託して



(社)ガールスカウト日本連盟大阪府支部 支部長 豊谷 久仁子 (小70 中高13期)

ミャンマーの村で出会った、赤ん坊を抱いた若い母親に「少女の歩む人生は彼女自身が選んだ道であってほしい」と言う思いで、2007年より始まったガールスカウト大阪府支部の事業、「ミャンマー・スタディーツアー」は全ての子どもたちが学校に通い、教育を受けて、「自分で自分のことを考えることが出来る力をつけてほしい」と願ってきました。乾季には水の確保が困難で、毎日遠くまで水を汲みに行くのは子どもたちや女性の仕事です。そのために、学校へ行く時間も、経済的余裕がないのが村の現状です。また、汚い水を飲料水に使用するために、水源起因の病気で死亡率が高いのです。私たちは子どもたちの衛生状態を改善するため、また、教育の機会を持ってほしいために井戸の提供や交流を通じて手洗い、歯みがき指導などの啓蒙活動を行ってきました。その活動が世界連盟より大きな評価を受け、2011年に日本で初めてのオレブ賞を受賞しました。

その結果、長年の願いが叶い、2012年1月2日に民主化運動の指導者であるアウン・サン・スー・チーさんと会談する機会をいた



だきました。各国の首脳が先を争って面会される中、外国の少女たちが会うことは異例のことです。

ビルマと呼ばれていた時代にスー・チーさんは11～17歳の間、ガールガイドとして私たちと同じような活動を通じて楽しい思い出を持ったことを話されました。参加した少女たちは臆することなく、自分たちの考えや気持ちをお話し、スー・チーさんは一つひとつ丁寧に、教育や私たちの活動についての的確に、わかり易く答えてくださいました。と同時に、私は政府・与党の連邦団結発展党(USDP)のテーウー総書記とも再会することが出来ました。10年以上前にエヤワディ管区、パテインの村で井戸を提供する事業を許可下さった軍司令官で、「当時は外国人が村の中で事業をすることについてはいろいろな意見があり難しかったが、私は国民のためになると思って許可を出しました」と話されました。政治的には両端にいらっしゃるお二人ですが、どちらも国民のために努力されている偉大な方だと尊敬しています。

1月4日はミャンマーの独立記念日でした。私たちにとっての「自由」とミャンマーの国民にとっての「自由」は重さが違います。私たちはもう一度その意味を考えてみたいものです。

第二回

## 追手門川柳

### 第三回 募集要項

テーマ 体育祭

発表 山桜会報90号にて

応募対象 茨木中・高 在校生



今回、第2回追手門川柳は、山桜会の皆様に募集しましたところ、たくさんの秀作をお送りいただき誠にありがとうございました。伝統ある追手門で過ごしたその思いが感じ取れる作品ばかりで、とても楽しく拝見いたしました。

第3回は、茨木の中・高生の皆様より、体育祭をテーマに募集致します。たくさんのご応募をお待ちしております。



## 「追手門」も見ずに卒業した不覚

藤井 則彦 (小59・中2期)

作品講評 読んでいて、思わず笑ってしまいました。そのとおりだなと思われた会員の方も多いのではないのでしょうか。



追手門 白髪が咲かす 山桜

林 由佳里 (小116期)

懐かしの 追坂登って 息あがる

衣笠 朱音 (茨高58期)



錦城に 負けじと伸びよ 山桜

寺脇 純一 (高8期)

満開の お濠に浮かぶ 追手門

恒川 雅宏 (大中高49期)

関西の 学習院と 噂され

杉岡 文彦 (小63・高6期)



参加賞

オリジナル携帯ストラップ

入賞者副賞(金・銀・銅賞)

万城目氏サイン入り著作本

【選者】川原 俊明 田口 順一 林田 隆行



詳しくは山桜会オフィシャルホームページへ